

第4章 子どもの人権について

(1) 子どもに関する人権の問題

問 11. 子どもに関する人権上の問題として、現在、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。(〇印はいくつでも)

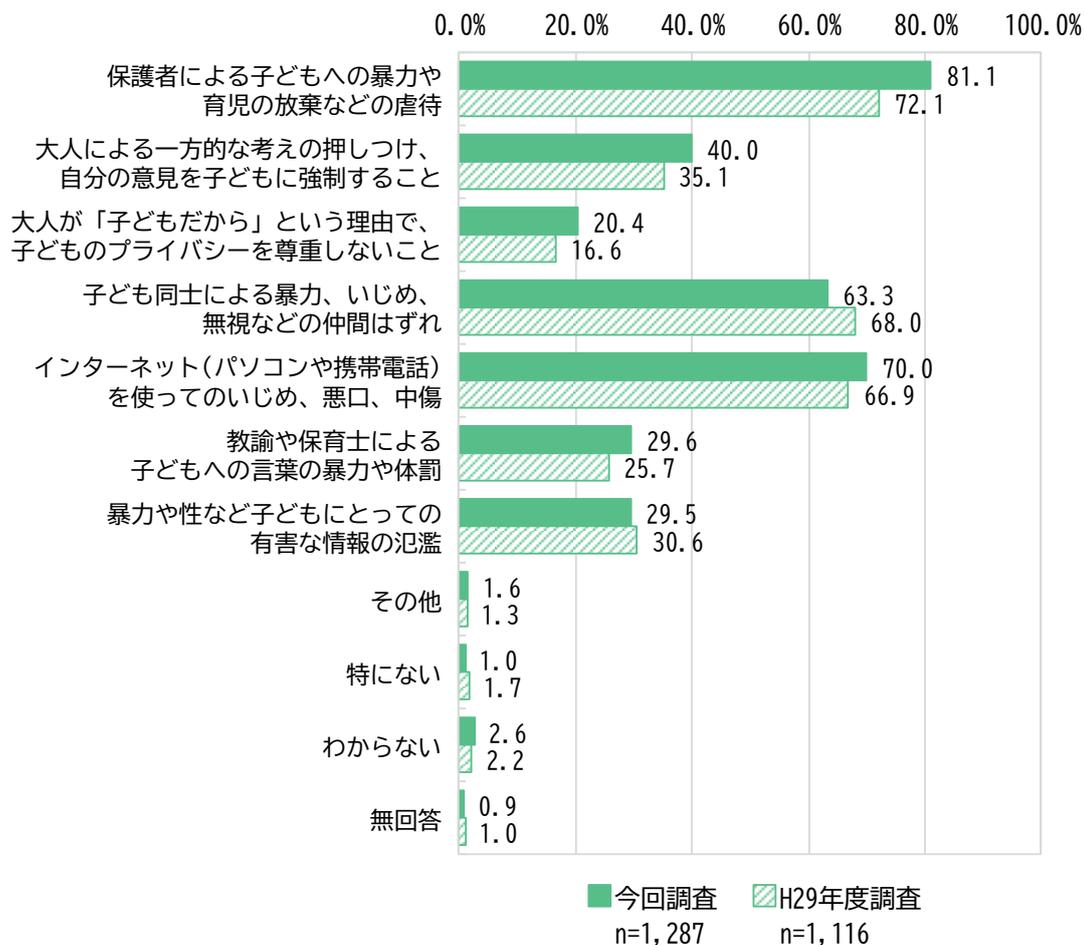
▶ 全体

「保護者による子どもへの暴力や育児の放棄などの虐待」が 81.1%で最も多く、次いで「インターネット(パソコンや携帯電話)を使ってのいじめ、悪口、中傷」が 70.0%、「子ども同士による暴力、いじめ、無視などの仲間はずれ」が 63.3%となっており、この3項目に回答が集まっています。

▶ 平成 29 年度調査との比較

今回の調査では、「保護者による子どもへの暴力や育児の放棄などの虐待」「大人による一方的な考えの押しつけ、自分の意見を子どもに強制すること」が平成 29 年度調査よりも多くなっています。

図4-1 子どもに関する人権の問題



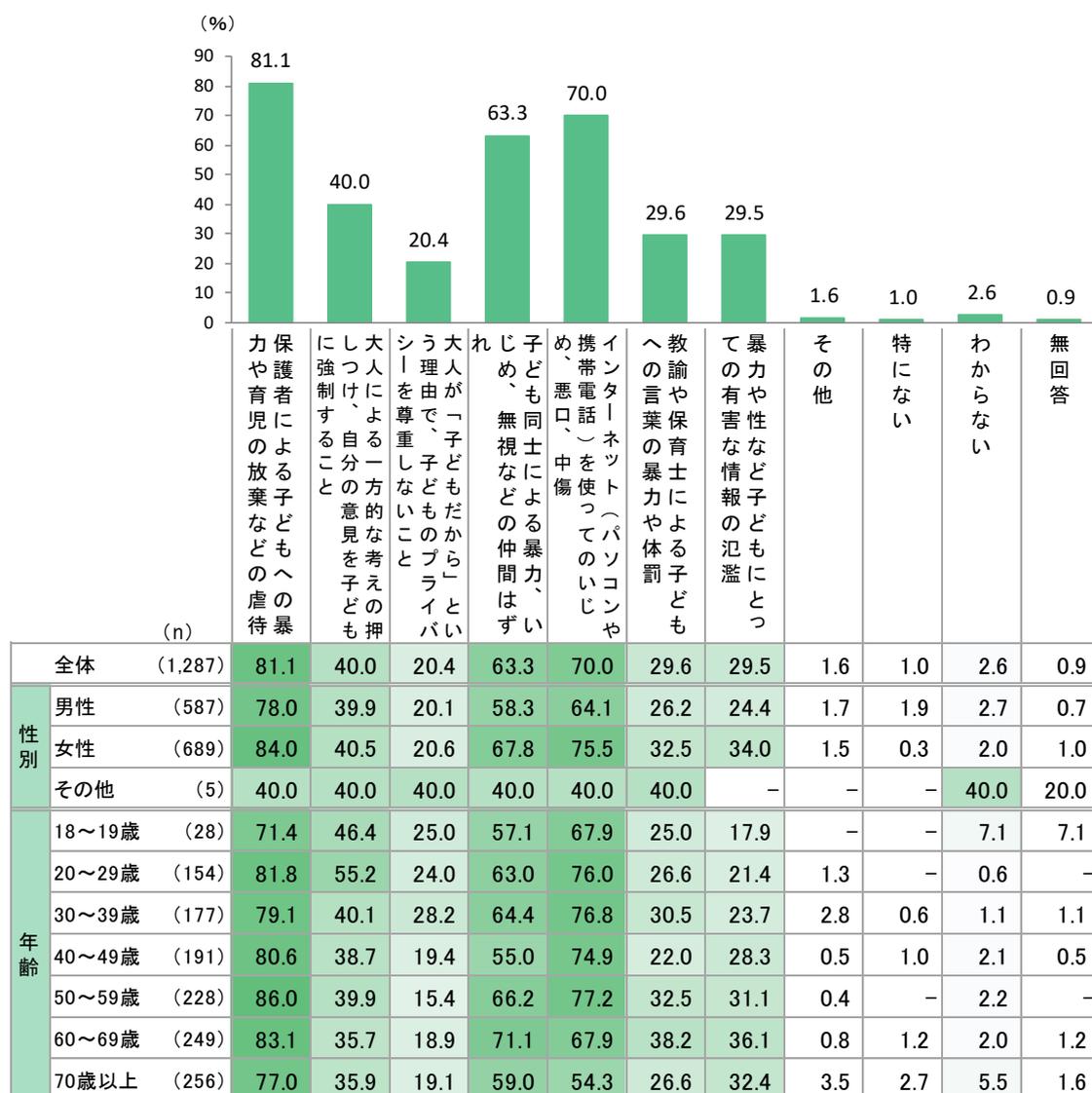
➤ 性別

“女性”では、「インターネット(パソコンや携帯電話)を使ってのいじめ、悪口、中傷」が75.5%、「子ども同士による暴力、いじめ、無視などの仲間はずれ」が67.8%、「暴力や性など子どもにとっての有害な情報の氾濫」が34.0%で“男性”より10ポイント程度多くなっており、女性は子どもの問題に敏感であることがうかがえます。

➤ 年齢別

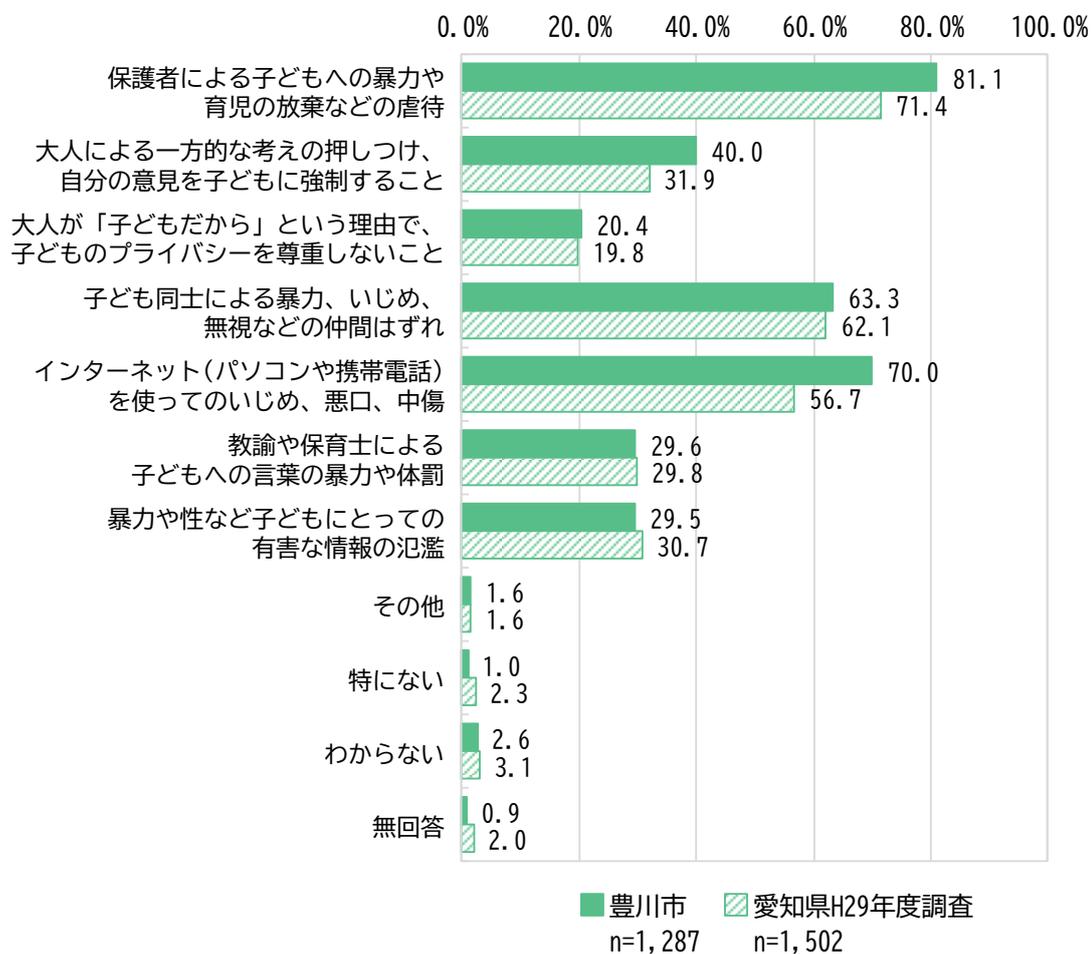
“20～29 歳”で「大人による一方的な考えの押しつけ、自分の意見を子どもに強制すること」(55.2%)、「60～69 歳」で「教諭や保育士による子どもへの言葉の暴力や体罰」(38.2%)が、他の年齢層よりも多くなっています。

図4-2 子どもに関する人権の問題（性別・年齢別）



➤ 参考 平成 29 年度愛知県調査との比較

図 4-3 子どもに関する人権の問題（平成 29 年度愛知県調査との比較）



(2) 子どもの人権を守るために力を入れていくべきこと

問 12. 子どもの人権が守られるために、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇印はいくつでも)

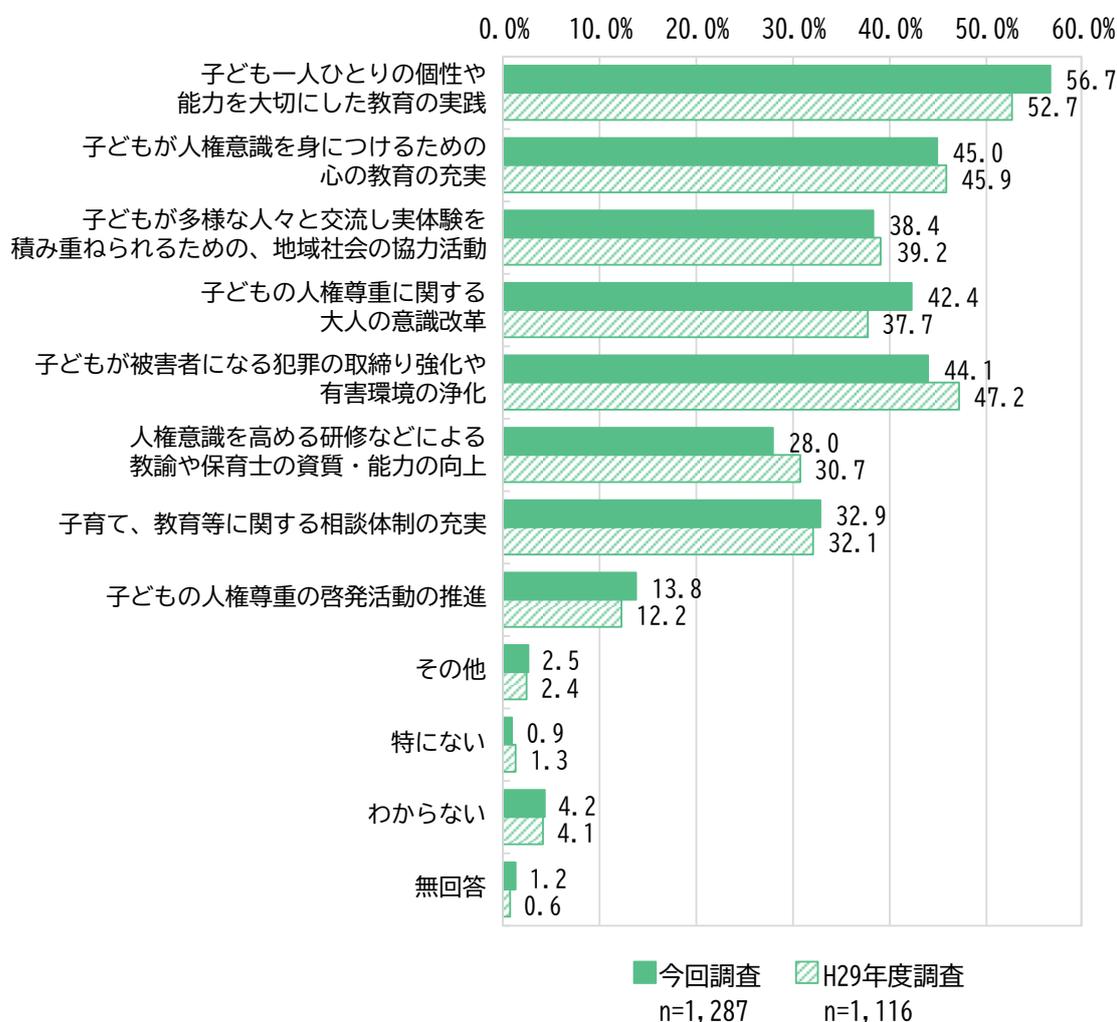
▶ 全体

「子ども一人ひとりの個性や能力を大切にした教育の実践」が 56.7%で最も多く、次いで「子どもが人権意識を身につけるための心の教育の充実」が 45.0%、「子どもが被害者になる犯罪の取締り強化や有害環境の浄化」が 44.1%となっています。

▶ 平成 29 年度調査との比較

今回の調査では、「子どもの人権尊重に関する大人の意識改革」「子ども一人ひとりの個性や能力を大切にした教育の実践」が平成 29 年度調査よりも多くなっています。

図4-4 子どもの人権を守るために力を入れていくべきこと



➤ 性別

“女性”では、「子どもが被害者になる犯罪の取締り強化や有害環境の浄化」が 50.2%、「子どもが人権意識を身につけるための心の教育の充実」が 49.2%、「子育て、教育等に関する相談体制の充実」が 37.7%で“男性”より 10 ポイント程度多くなっています。

➤ 年齢別

“18～29 歳”で「子ども一人ひとりの個性や能力を大切にされた教育の実践」(65%以上)、“30～49 歳”で「子どもが人権意識を身につけるための心の教育の充実」(51%以上)が、他の年齢層よりも多くなっています。

図4-5 子どもの人権を守るために力を入れていくべきこと（性別・年齢別）

